

令和元年度 指定管理者制度導入施設モニタリングシート

●施設概要

施設名	古河庁舎併設市民集会施設(スペース U 古河)	施設所管課	財産活用課		
指定管理者名	有限会社ペイント・ボックス	指定期間 (評価実施年)	平成 30 年 4 月 1 日	～	令和 3 年 3 月 31 日
			(指定期間	3 年	のうち 2 年目)
施設設置目的	人と人とのふれあい、誰もが自由に利用することにより新しい文化の構築、古河市民のいこいの場を目的とします。				
主な実施事業	施設の運営業務及び利用許可 ホールの音響・照明装置の操作 施設の維持管理業務				

●実績報告

開館・ 開園日数	利用人数 (人)	利用団体数 (団体)	減免数 (件)	指定管理料 (円)	指定管理者の収支状況			備 考
					収入【A】(円)	支出【B】(円)	差引【A-B】(円)	
308	33,080	1,896	817	9,500,000	15,616,485	15,193,987	422,498	

●管理運営状況

項目		評価基準(評価の観点)	評価内容			
			自己	指定管理者コメント	所管課	所管課コメント
1. 団体の能力	団体の安定性	安定した運営ができる財務状況である	A	良好に行えています。	A	長年の管理実績もあり、良好に行えている。
	団体の信頼性	類似施設の管理実績が良好である				
	基本方針	市の計画や条例における施設の設置目的や役割を理解している 指定管理者としての責務を認識し、真摯に事業に取り組む姿勢がある				
2. 管理運営の基本事項	公平性の確保	誰もが平等・公平に利用できる仕組みづくりがされている	A	良好に行なえています。 窓口対応に関して、苦情が寄せられてしまいました。 スタッフ共通の問題と認識し、再発防止に努めるようミーティングを実施しました	A	指定管理者として管理運営を適正に行えています。
		・利用時間・開館日は協定書を遵守している ・利用時間・開館日・事業内容等の周知は的確である ・予約方法・受付方法は的確である				
	苦情・要望の把握と対応	利用者の意見・要望の把握とその反映の方法は的確である トラブル発生時の対応策や未然防止策が検討されている	A			
		・苦情・要望の把握方法・対応が明確になっている ・苦情・要望内容、対応についてきちんと記録されている ・より多くの意見を集められるよう工夫が図られている ・利用者が気持ちよく利用できるよう工夫が図られている				
	情報管理	個人情報保護や業務上知り得た秘密の漏洩防止策が講じられている 情報公開への対応は的確である	A			
		・業務上知り得た秘密や個人情報の適切な管理方法について定めた個人情報保護マニュアルが策定、更新されている ・情報管理について職員に意識付けされており、マニュアル通り運用されている ・情報公開規程が策定されている				
	利用者の安全確保	日常から利用者が安全に利用できるよう、事故防止、防犯、防災などきめ細かい安全対策が講じられている	A			
		・日常的に必要な安全点検を行っている ・緊急時の行動規範(マニュアル)が策定・更新されている ・緊急時の行動規範(マニュアル)が職員に周知徹底されており、マニュアル通り運用されている ・最低年1回の避難訓練を実施している				
	危機管理体制	事故、災害など緊急時において適切な対応ができるような体制がとられている	A			
		・危機管理マニュアルが策定、更新されている ・危機管理マニュアルが職員に周知徹底されており、マニュアル通り運用されている ・非常口の表示がされており、避難経路が確保されている				

